支笏湖ビジターセンター便り

山線鉄橋が　選奨土木遺産に認定されました！！

2018年(平成30年)11月号　Vol. 107

平成30年度(2018年)
選奨土木遺産認定記念

選奨土木遺産とは、公益社団法人土木学会が、近代土木遺産（幕末～昭和 20 年代）を対象に、社会へのアピール、土木技術者へのアピール、まちづくりへの活用などを促すことを目的に認定したものです。

この認定制度は、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存の助けになるようにと 2000 年に設立されました。以降年間 20 件程度が選出されています。今年度、道内では 2 件（他は苫小牧港大規模掘込港湾施設）がえらばれました。

※公益社団法人土木学会は、1914 年に設立された東京都新宿区四谷外濠公園内に本部を置く日本の工学系学会です。

「山線（やません）鉄橋」大解剖！

山線鉄橋（やませんてっきょう）は、1924 年に支笏湖温泉地区の千歳川に移設された英国製の 200 フィートピン構造ダブルワーレントラス橋で、道内現存最古の明治期の鋼橋です。

イギリス人のポーナルの設計で、イギリス製の鋼・錬鉄混合トラス橋です。

1999 年
千歳市
有形文化財指定

橋の長さは 64m
橋の幅は 3 メートル
（歩道部有効幅員）

2007 年
経済産業省の
近代産業遺産群３３
に認定

今後、土木遺産カードが作成され、希望者に配布する予定

遠くから見ると橋の骨組みがよく分かります。鋼材を斜めに組み合わせ負荷を分散させる形式で造られています。山線鉄橋はダブルワーレントラスという形式で「部材を“X型”で交差させる構造」が特徴の橋です。設計当時の英国で一般的だった構造で、この特徴をもつ鋼橋は道内唯一です！

山線鉄橋は昔、鉄道が走っていたことを物語る歴史的構造物です。

支笏湖温泉地区には１９０８年から、苫小牧に工場を持つ王子製紙という一企業によって軽便鉄道が敷設されていました。敷かれた目的は、千歳川の発電所建設工事の建設資材を運搬するためです。

汽車は当時、木製の橋を渡っていましたが１９２４年、今の山線鉄橋に架け替えられ、１９５１年に廃線になるまで鉄道橋としての役目を果たしてきました。いまは歩道橋として活躍中です。

広場の樹木が葉っぱを落とし、ビジターセンターラウンジからも山線鉄橋が見やすくなりました。景観とそれに溶けこむ山線鉄橋を見て人と自然が共存してきた歴史に思いをめぐらせてみるのはいかがでしょうか。

お知らせ

道路通行止　情報

湖畔一号道路　通行止めに

９日の大雨により道路が一部損壊していた湖畔一号道路が１１月１３日に、完全に通行止めになりました。

これから工事が入り修復する予定です。休暇村支笏湖（ホテル）さんへ向かうには国道を経由するか、歩かれる方は野鳥の森への階段を利用するしかありません。階段は冬期間除雪がされないため今後は不便を強いられることでしょう。早い復旧を願います！

山線鉄橋の生い立ち

・イギリス人のポーナルの設計。イギリス製の鋼・錬鉄混合で造られました。

・1899 年から北海道官設鉄道上川線の砂川・妹背牛間の空知川に架けられていましたが、橋は小型機関車の設計荷量であったため、輸送量の大幅な増大についてゆけず役目を終えました。

・その後、王子製紙が払い下げを受けました。1924 年王子軽便鉄道（山線）が利用していた木製橋がこの鋼橋に架けかえられ、支笏湖温泉にある鉄道橋になりました。

・1951 年の鉄道（山線）の廃止に伴って役目を終えましたが、1967 年に千歳市に寄贈されました。

・現在は歩道橋としての役目を果たしています。

支笏湖温泉の気象

支笏湖畔の気温
・降水量・日照時間
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測値～

気温(℃)

	平年値	今年
10 月上旬	11.9	13.6
中旬	10.1	10.3
下旬	7.9	10
11 月上旬	5.9	8.9

日照時間(h)

	平年値	今年
10 月上旬	40.7	42.4
中旬	43.7	43
下旬	42.7	46.3
11 月上旬	34.3	40.8

降水量(㎜)

	平年値	今年
10 月上旬	72.9	123
中旬	65.6	33
下旬	53.8	192.5
11 月上旬	41.4	167

１０月は９月に引き続き気温が高めに推移し、月平均気温１１.３度は同月としては観測開始以来２番目に高くなっています。降水量も多く同月の合計値３４８.５㎜は同月として観測開始以来最も多くなりました。

１１月に入っても気温が高く雨の多い傾向は続き、上旬の平均気温は平年値より３．０度も高い９．９度、降水量は平年値のほぼ４倍、１６７㎜となっています。このため、例年ほぼ１０月中にある温泉街の初雪は、記録が残る２００３年以降最も遅くなっています。

アクティブレンジャー日記

湖上にいる水鳥を観察中

環境省　支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブレンジャー（自然保護官補佐）
當山　真貴子

紅葉シーズンを終え、すっかり葉を落とした木々が目立ち、少し寂しい感じがする支笏湖。しかし、樹木をよく観察してみると、毛皮を着たようなキタコブシの冬芽や羊の顔のように見えるオニグルミの葉痕等、種類によって大きさや形が異なる冬芽や葉痕に、みなさん興味津々。木々の間を飛び交うアカゲラや川で休んでいたカイツブリ等の姿も発見し、これから本格的な冬を迎えることを感じる一日となりました。また、現在、支笏湖ビジターセンターの多目的室でアクティブ・レンジャー写真展を開催中です！西北海道で活躍している私達の仕事を紹介していますので、是非お立ち寄り下さい(*^^)

ビジターにおいでよ

～展示物の紹介～

ビジターセンターのメイン展示であり、老若男女に人気のヒメマス水槽。今の時期は婚姻色（こんいんしょく）のヒメマスを展示中です。(※展示協力：支笏湖漁業協同組合)婚姻色とは、繁殖期を迎えた印として現れる体色のことです。ヒメマスの場合、頭は深緑色、身体は鮮やかな赤に染まり、メスよりもオスの方が鮮やかなのが特徴です。おもに４年魚（４歳）の秋になると成熟して婚姻色が現れ、自身が生まれた川に戻り、繁殖行動を行います。

ところで、ビジターセンターの水槽育ちのヒメマスにも４～5 年魚のものがいるのですが、こちらはいつまで経っても婚姻色が出ることはありません。

おそらく水槽は常に環境が一定で季節変化がないためでしょう。

自然のなかで水温や日長の変化など、細やかな季節の移り変わりを感じ取ることではじめて成熟することができるようです。

ビジターセンター多目的室展示紹介

アクティブレンジャー写真展開催中

道内のアクティブレンジャー（ＡＲ。自然保護官補佐）１２名が写真とパネルで自らの活動を紹介しています。

この写真展を通してＡＲの認知と環境保全活動の普及を目指しています。会期は 11 月 25 日までです。

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行
〒０６６・０２８１　北海道千歳市支笏湖温泉番外地
℡　０１２３・２５・２４０４
ＨＰアドレス　http://shikotsukovc.sakura.ne.jp

【開館時間】　※入館無料
４月から１１月　午前９時から午後５時３０分まで
１２月から３月　午前９時３０分から午後４時３０分まで
（火曜日休館）
年末年始休館日　１２月２９日から１月３日まで

ビジターセンター自然ふれあい行事

クリスマス＆お正月クラフト

１２月１日（土)、９日（日）
ビジターセンターラウンジにて
時間１０:００～１２：００　定員８名 無料

支笏湖周辺の森で拾った自然材料を使って季節の行事にぴったりなリース作りをします。道具・材料はビジターセンターで用意します。お気軽にどうぞ！